

国土問題 2 号正誤表

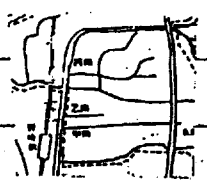
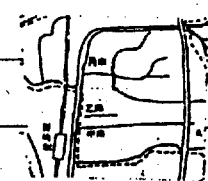
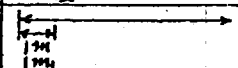
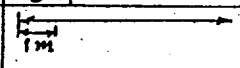
一頁	上段	一〇行
二頁	上段	二〇行
三頁	下段	五行
一〇頁	中段	一一行
一二頁	中段	五行
一四頁	下段	一六行
一七頁	上段	四行
一八頁	下段	一五行
一九頁	上段	一行
二二頁	下段	二二行
二六頁	上段	二七行
二六頁	中段	二七行

誤

国土問題研究は
 「数研集会」
 支える調査
 室原知行さん
 の早天で
 水稻に色の斑点
 保津狭の
 労組の民主団体
 からしめつけ
 著（畑表農業
 もない。のである。
 いる入にこの

正

国土問題研究所は
 「教研集会」
 支えられ。調査
 室原知幸さん
 の早天で
 水稻に褐色の斑点
 保津映の
 労組の民主団体
 からのしめつけ
 著（畑地農業
 もないのである。
 いる人にこの

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
25	表-2 右 12	回収	改修	112	右 16	に基づく内水洪水の主張	(重複)削除
26	右 19~20	原告団パンフ--- ---(5,000部)」は	529 のとこ3へ.	"	20	(傍点筆者)	削除
"	23	52 10~11	52 9~11	113	左 1	彼等の点疎通能力	彼等のC点疎通能力
30	表-4 右 4	地方自治体	地方自治法	"	右 1	a点のそれ同工異曲	a点のそれと同工異曲
36	下 右 11	溢水点C	溢水点C点	"	右 10	(傍点筆者)	削除
54	図3			"	下 右 6	存在と許す	存在を許す
"	下 右 12	ここから	この約400m南から	115	下 右 4	単独提訴	単独控訴
62	左 1~2	谷田川本流へ流そう としたものと思われる。	防ごうとしたものであ	116	左 9	非保守系	保守系
"	6	と思われる。のあへ	(図9)を付加。	"	下 右 4	上告者	控訴者
63	左 12	(図-9参照)	(図-10参照)	120	左 11	6,000部売上	発行6,000部に達す
66	右 2-3	(図-11)	(図-12)	"	14	AM 9:30	AM 9:10
67	左 15	(図-12)	(図-13)	"	15	AM 10:30	AM 9:30
"	17	(図-13)	(図-14)	"	16	AM 11:30	AM 10:00
"	18	(図-14)	(図-15)	"	下 右 5	申込書	申入書
69	左 1	図-4のように、	削除	— <冒頭の写真説明> —			
75	図16 左 1	日雨量20mm	日雨量175mm	5	左 中	S47.7.112	S47.7.12.
91	下 右 2	外力(C点溢水)	外水(C点溢水)	"	右 上	午後	午後2時頃
96	下 左 5	録囲	範囲	"	"	水面水面	水面
104	左 7	化定	仮定				
"	右 12	流速 $V_1^2 = \sqrt{\quad}$	流速 $V_1 = \sqrt{\quad}$				
105	左 13	"a点溢水流水	"a点溢流水				
"	右 17	6基	6導				
106	図9 左						
112	下 左 12	(cf. 13)	(cf. 図13)				
108	左 5	(何	(何の				

01-14 EGC

国土問題 21号正誤表

国土問題研究会南木曾地方災害環境調査団

木村春彦	(調査団長)	京都教育大学	(環境地学)
井上穎纘		京都学園大学	(地形)
岡林一夫		京都地方気象台	(気象)
神山武広		全林野労働組合	(林業)
古藤田一雄		京都教育大学	(水理)
坂本竜三		住研設計	(構造・設計)
中西宏次		大阪府立吹田高校	(災害地理)
松川元		法政大学	(防災工学)
水山高幸		京都教育大学	(水理)

法政大学地域問題研究会

国土問題 2 2 号 正誤表

上屋久町災害対策調査報告書

正 誤 表

頁	場 所	誤	正
折込図	右下	安 <u>戻</u> 川	安 <u>房</u> 川
2	左列5行目	地形(下 <u>川</u>)	地形(岩 <u>松</u>)
9	19行目	ヤシヤブシ <u>ア</u> セビ	ヤシヤブシ, <u>ア</u> セビ
11	4行目	16 <u>9</u> 5	16 <u>4</u> 2
21	下から4行目	宮ノ <u>浦</u> 川	一 <u>湊</u> 川
26	表IV-④	2 <u>4</u> 時	0 <u>時</u>
28	下から4行目	オーバ <u>ー</u> フローして <u>それ</u> 住居	オーバ <u>ー</u> フローして住居
34	下から9行目	的 <u>新</u> しい	新 <u>し</u> い
40	ハ. 二段目	59. <u>4</u>	59. <u>7</u>
42	図. 横軸	6以 <u>上</u> の	6以 <u>下</u> の
"	下から1行目	方向の <u>もの</u> が	方向の <u>構造線</u> が
42~43	両頁の境	<u>リニアメント</u>	<u>崩壊</u>
56	図VI-⑭下	…… <u>地域</u>	…… <u>地域の崩壊率</u>
64	表(イ)	森林 <u>積</u> 面比	森林 <u>面</u> 積比
66	下から8行目	増水ピーク <u>入</u> 流量	増水ピーク <u>流</u> 量
75	11行目	占める。 <u>その上</u> 1200m	占める <u>その上</u> の1200m
"	下から15行目	板張 <u>り</u> , <u>三</u> 味線	板張 <u>り</u> 三味線
78	上から1行目	<u>600</u> m万m ³	<u>13.6</u> 万m ³
85	下から12行目	<u>上屋久事業区</u> ……営林署管内	<u>削除</u>

場 所	誤	正
3頁 左 5行目	経験	経験
4頁 左 10行目	調査てでは	調査では
13頁 右 15行目	法律学者のほうから	法律学者のほうから
15頁 右 最下段	したものです。	したものです。
17頁 左 1,2行目	料革命」—これはわが国エネルギーを 石油依存型に変えた—によって	料革命」—これはわが国エネルギーを 石油依存型に変えた—によって
19頁 右 12行目	植林樹種	植林樹種
21頁 右 10行目	独立採算制にはふれず	独立採算制にはふれず
31頁 左 4行目	あるいは岩盤	あるいは岩
31頁 左 下から 8行目	1m測から解放	1m測から解放
31頁 左 下から 6行目	に及びハイキング	に及びハイキング
33頁 右 1行目	多く住民	多くの住民
36頁 右 19行目	し取還元利用者	し取還元利用者
38頁 右 5行目	災害危険地	災害危険地
38頁 右 7行目	十二分に検討	十二分に検討
40頁 13行目	科学生	科学性
52頁 11行目	集まる可能	集まる可能性
52頁下から6行目	数値の採用	数値の採用
57頁 17行目	地表や水路流れ	地表や水路を流れ

箇 所	誤	正
27P 上段図左端 (説明文)	縦	紙
30P 右 5行目	Leg	Leq
" 11行目	Leg	Leq
33P 図3 -9	Log	Leq
35P 左 4 行目	Leg	Leq
58P 左 グラフ (上)	直下	50m
" " (下)	50m	直下

箇所	誤	正
目次 P3. 4行目	3-1 調査対象者の性別、年齢	3-1 調査対象者の性別、年齢別構成
第1章 P4. 左4行目 P7. 右2行目	壁地 57年	壁地 52年
第2章 P19. 右最下行 P20. 表2-1	付録2 宿泊体験	付録第2章 宿泊体験
第3章 P21. 1-1、2行目	(付録2-(1)参照) 以下、参照の指示で付録n-(n)という表現は付録第n章第n節を意味するものとする。	(付録第2章第1節参照)
P21. 右下から4行目	測定につき	1測定につき
P22. 表3-2 * 第2節2行目	電磁 第2章の図2-2参照	電磁 第1章の図1-3参照
P23. 図3-3	泉道大和高田玉寺線	旧泉道大和高田玉寺線
P24. 写真3-2の題	上部断面図	上り線
P27~28. 図中	線送り	線送り
P29. 右7行目	述べた時間的	述べたが、時間的
P30. 右5行目 * 右11行目	Leq "	Leq "
P30. 左下から4~3行目	図3-6	図3-7
P31~32. 図3-7左図 * 図3-7 * 図3-8	直下 LEQ値 60dBと示す	直下 Leq値 60dB以下のレベルは、60dBと示す
P33. 図3-9	Log	Leq
P35. 左4行目 * 下から4行目	Leq 室内り方が	Leq 室内の方が
P36. 図3-11(b)	支	支関
P37~38. 図3-12 * 同図の説明 * 同図	2階北西室(戸開) 浴室(戸開) オールバスの 全測定データの平均値	2階北西室(戸開) 浴室(戸開) 軒下でのオールバスの 全測定データのLeq値
P39~40. 図3-13 第2列と第4列の上 同図、第1列の最下図 同図、第3列の最下図	平均値 戸開 戸閉	Leq値 戸閉 戸閉
P41~42. 図3-14 右列上	LEQ値	Leq値

箇 所	誤	正
P 41-42. 図3-14	————	2階北西室と浴室については、戸開と戸閉の記号が逆になっている。
” 同図の説明	0dBとし、	0dBとして表示している。
” ”	左列はピーク値	左列はピーク値10個の平均値
” ”	LEQ値	Leq値
P 44. 右下から5行目	振動が速度	振動加速度
P 45-46. 図3-16	直下音圧レベル	直下音圧レベル
同図に説明を加える	————	細線 直下でのオールパスの音圧レベルが最も大きくなっている時刻10個におけるスペクトル
		太線 上の平均値
		◇印 全測定データのLeq値
P 50. 図3-19の題	高架橋	高架橋
P 51. 図の番号	3-20	図3-20
同図に説明を加える	————	細線 道路端でのオールパスの音圧レベルが最も大きくなっている時刻10個におけるスペクトル
		太線 上の平均値
		◇印 全測定データのLeq値
同図最下図に次の語を入れる		ピーク値10個の平均値
P 52. 図3-21	LEQ値	Leq値
P 54. 図3-23	”	”
” 同図の題	高架橋	高架橋
P 55-56. 図3-24の題	”	”
P 57. 左下から6行目	図3-22	図3-23
” 左下から5-4行目	図3-6、および図3-7	図3-7、および図3-8
” 右下から5行目	図3-20	図3-26
P 58. 図3-25左上図	直下	50■
” ” 左下図	50■	直下
” 同図の題	高架橋	高架橋
” 同図の説明	(◇印はLEQ値)	細線 直下でのオールパスの音圧レベルが最も大きくなっている時刻10個におけるスペクトル
		太線 上の平均値
		◇印 全測定データのLeq値
P 59. 写真3-7の題	高架橋	高架橋
” 写真3-8の題	”	”
P 60. 写真3-9の題	”	”
P 61. 図3-26の題	高架沿線	高架沿線
P 63. 図3-28の説明	高速高架橋	高速高架橋
P 64. 左最下行～	90%レンジ上限	90%レンジ上端値

箇所	誤	正
第4章		
P65. 右9行目	3月に行なわれた	5月に地元医師団が行なった健康等の被害調査(建物被害も含む)
右16行目	(写真4-1参照)	削除
P67. 表4-1の(注2)	ストレート	スレート
P68. 左2行目	属性	属性を
左5~6行目	図1-2	図4-2
右2行目	表1-2	表4-2
P70. 右14行目	低音	低周波音
右16行目	付録参照	付録の第2章参照
右17~19行目	さらに、香芝高架橋のすぐ近くの住宅が振動していることも、前章で実証されている。	削除
P71. 表4-3	風呂場	風呂場
左下から3行目	同上	同上
右下から6行目	同上	同上
右1行目	トタン板が腐る、被	トタン板が腐る、屋根瓦の被害(表4-4)などは①、②に比べて被
右下から9行目	■	■
P72. 図4-4	風呂場	風呂場
表4-5(a)	$\frac{8}{26}=30.8\%$ 、 $\frac{17}{58}=29.3\%$	$\frac{8}{26}=30.8\%$ 、 $\frac{17}{58}=29.3\%$
P74. 左2行目	3-2 建具のゆるみ	3-2 建具のゆがみ
右5、6行目	ゆるんで	ゆがんで
P75. 左1行目	図4-5	図4-6
右13行目	風呂場	風呂場
右15行目	全く無い	「無い」と回答された
P76. 図4-7の凡例	県道	旧県道
P78. 図4-9の凡例	△10年以上	△10年以内
P79. 表4-9	壁のひび割れ	建物のゆがみ
P80. 表4-11	_____	注釈の追加(注)屋根瓦のある建物のみを対象とした
左下から4行目	調査	アンケート調査
P82. 左4行目	以内	以上
左10行目	表3-10	表4-12
P83. 右8行目	表4-16	表4-16および図4-13
右10行目	3-4-1節	3-3節
P84. 表4-16	④ ①+②+③	④=①+②+③
同上	(注)400■	(注)400■
P87. 表4-19	し物	吊し物
	_____	のれん、カーテンの欄は「揺れる物」の1分類である

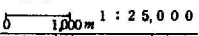
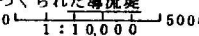
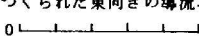
箇所	誤	正
P92. 左下から1行目	■ ²	■
* 右下から3、4行目	同上	同上
P94. 左下から2行目	同上	同上
* 表4-25	(注)表2-1	(注)表4-24
* 表4-26	1, 1.5, 5	1cm, 1.5cm, 5cm
	2日間で多いところでは1	2日間で多いところでは1cm
	雨どいに3	雨どいに約3cm
	雨どいで年に2~3	雨どいで1年に2~3cm
	うすくたまる(2)	うすくたまる, 1日で字が書ける,
		とにかくたまる, たくさん
P95. 表4-28	49(50.0%)	3(3.4%)
	45(45.9%)	1(1.1%)
	4(4.1%)	85(95.5%)
	98(100%)	89(100%)
P96. 左7~8行目	3)香芝インターチェンジの料金所廃止による環境破壊料金所廃止により	3)香芝インターチェンジの料金所廃止により
* 右8行目	(写真-3)	(写真4-3)
* 右12行目	80KW	80KW
P97. 左6行目	騒音の	騒音や
* 左下から3行目	大きな差はない	大きな差はない(表4-10参照)
* 右2行目	だけでなく、建物自体が振動している	が揺れているだけでなく、家の中で揺れや振動を感じる居住者が半数近く存在する(表4-18参照)
* 右8行目	以上の三点から	第一、二、三の三点から
* 右下から1行目	小さい	小さいと推定される
第5章		
P98. 第1節3行目	出じめて	出始めて
* 左最下行	作制	作成
* 右6行目	低周波	低周波音
* 右3-1の題	年齢別	年齢別構成
P99. 表5-1の題	"	"
P102. 表の番号	図5-3	表5-3
P103. 左2行目	中心し	中心とし
P104. 左7行目	白血球	白血球
* 左10行目	90mm/g	90mm/Hg
* 左最下行	外耳道炎	外耳道炎赤
* 右2行目	膀胱様	膀胱刺激様
* 右4行目	一気道	上気道
* 右9行目	膀胱	膀胱刺激様
* 下から2行目	臨時	臨床
P105. 表5-4	シェロングテスト陽性例	シェロングテスト陽性例

箇所	誤	正
P105. 表5-4 " " " " " 4行目 P106. 左3行目 " 右下から2行目 P109. 左11行目	ニ)膀胱症状を 20mm/Hg 90mm/Hg 示すの 表5-4 は急上昇 感昌	ニ)膀胱刺激様症状を 20mm/Hg 90mm/Hg 示すもの 表5-3 が急上昇 感冒
第6章 P111. 左1行目 " 左18行目 " 下から6行目 " 下から2行目	橋梁 結論 低周波 90%レンジ上限	橋梁 結論 低周波音 90%レンジ上限値
付録 第1章 P114. 右7行目 P115. 左下から4行目 " 右2-3行目 P118. 左5行目(3)式中 P120. 下から2行目 P121. 左下から4行目	図-3 図1-2 図-3 P ₀ 3√2 表-9	図1-2 図1-3 図1-2 P ₀ √2 表1-2
付録 第2章 P122. 第1節 3行目 P123. 第2節 6行目 " 図2-1を削除 " 左最下行 " 右下から8行目 P127. 左下から3行目 " 第4節 3-4行目 " 右下から10行目	周波音 図2-1 ----- 上の実験 図-4 救急車 これまでの 図-10	周波音 図1-2 ----- 上の実験 ¹⁾ 図2-4 救急車 これまでの 図2-10
P1 表中 P9 下から2行目 P21 表3-1 P27~28 図中 P53 図3-22の題 P118 左5行目(3)式中 P118 左下から2行目(4)式中	対象区 床盤 高芝高架橋 オールバス 高架橋 L Aeq.T "	対照区 床版 香芝高架橋 オールバス 高架橋 L Aeq.T "

べき安全性を欠き、他人に危害を及ぼす危険性のある状態をい（最高裁昭和五十一年）第三九五号同五六年一月一六日大法官判決・民集三五卷一〇号一三六九頁参照）かかる環境の存在については、当該營造物の構造用法、場所的環境及び利用状況等諸般の事情を総合考慮して具体的に個別的に判断すべきものである（最高裁昭和五十三年）第七六号同七月四日第三小法官判決・民集三二卷五号八〇九頁）。

ところで、河川の管理については、所論も指摘するように、道路その他の營造物の管理とは異なる特質及びそれに基づく諸制約が存するのであって、河川管理の環境の存在の判断にあつては、右の点を考慮すべきものといわなければならない。すなわち、河川は、本来自然発生のな公共用物であつて、管理者による公用開始のための特別の行為を要することなく自然の状態において公共の用に供される物であるから、通常は当初から人工的に安全性を備えた物として設置され管理者の公用開始行為によって公共の用に供される道路その他の營造物とは性質を異にし、もともと洪水等の自然的原因による災害をもたらす危険性を内包しているものである。したがつて、河川の管理は、道路の管理等とは異なり、本来的にかかる災害発生の危険性をほらむ河川を対象として開始されるのが通常であつて、河川の通常備えるべき安全性の確保は、管理開始後において、予想される洪水等による災害に対処すべく、堤防の安全性を高め、河運を拡張・源流し、流路を濶え、または放水路、ダム、遊水池を設置するなどの治水事業を行うことによつて達成されていくことが当初から予定されているものといふことができるのである。この治水事業は、もとより一期一夕にして成るものではなく、しかも全国に多数存在する未改善河川及び改修の不十分な河川についてこれを実施するには莫大な費用を必要とするものであるから、結局、原則として、国会が國民生活上の他の諸要求との調整を図りつづその配分を

正 誤 表

頁	行	誤(下線部)	正
目次	下から10	(4)…… <u>海岸砂量の変化</u>	(4)…… <u>汀線砂の移動量</u>
図の目次	下から3	15-(1-5)	15-(1-4)
"	右頁の6	<u>23</u>	23-1
"	右頁の7	<u>24</u>	23-2
"	右頁の8	<u>25</u>	24
"	右頁の9	<u>26</u>	25
"	9~10の間	記入なし	26 波浪による汀線漂砂の移動……62
写真の"	右頁の23	3(1~6)…… <u>河口砂嘴</u>	(1~8)…… <u>河口付近の砂嘴</u>
3	2	<u>燧灘</u> の	燧灘の
"	下から5	ほとんどが <u>崗岩類</u>	ほとんどが花崗岩類
8	下から4	<u>天保山</u> 栈橋	栈橋
13	2	<u>河口</u> は	河口(現在の貯木場)は
14	上図	 1:25,000	トル
16	3	(<u>竜登川河口、現貯木場</u>)	トル
23	下図	3-8 同上	昭和60年2月24日の拝志川排水口
34	下図	1:25,000	1:25,000
39,40	全図	13-2, 13-3, 13-4	15-2, 15-3, 15-4
43	下から2	<u>つくられた導流堤</u>	つくられた東向きの導流堤
44	図	 1:10,000	 500m
45	下から4	では <u>浸食</u>	では、とくに桜井河口港南東では昭和50年より58年の方が浸食
46	1	図-11、20	図-19、20
"	2	<u>堆砂</u> がやゝ増加して……	昭和50年より58年の方が堆砂が減少して……
"	2~3	これは <u>陸けい島</u> が……から	これは③と同じ理由
"	下から3	<u>海岸の突出部</u> の	自然海岸の突出部でも
"	下から3~2	進行する傾向	進行し、桜井漁港南東では海岸線が後退する傾向
49	17	図-23、24	図-23-1~2
"	下から9	<u>漁港</u> や	漁港の
"	下から3	図-20	図-22
50	5	<u>I点~M点</u> まで	M点手前まで
"	下から2	<u>5ヶ所</u> 、	4ヶ所となる。
"	下から2~1	<u>総減少幅</u> ……している。	トル
55	表-5-2	K-2.4	K-2.3
56	上図	図-23	図23-1
"	下図	図-24	図23-2
59	下から11と7	図-25	図-24
"	下から10	図-26	図-25
60	図	図-25	図-24
61	図	図-26	図-25
"	5	図-27	図-26
62	図	図-27	図-26
68	下から8	<u>浸灘</u>	浸灘
75	下から7	dwt/y	wtd/y
77	13	(<u>参考文献⑩</u>)	(<u>参考文献⑩</u>)
"	下から6	図-24	図-23
81	図	寄せ波の波の波向	寄せ波の波向
82	下から3	影響する <u>5m</u> ……	影響する5m……
87	左列下から3	北北西	北西
92	8	<u>波高等</u>))をトル
"	下から4	図-35	図-2
93	5	写真-11	写真-12
"	6	<u>本年度、分析</u>	粒度分析
"	9	<u>一因は、波高</u>	原因は鳥生の埋立て前の地図で計測した点と、波高
"	10	<u>推算をした点</u>	推算をし、しかも陸風の風向を考慮しなかった点
"	下から8	<u>減るが、</u>	減るから
96	8	(<u>図-38参照</u>)	トル
"	10	写真-12	写真-13

㊦	㊧
目次 第4章 4-1 水性昆虫と水質	水生昆虫
目次 第4章 4-4 区域の自然生態計	自然生態系
P. 1 下から6行目 集中、群衆の見られる環境	群集
P. 2 上から8行目 「建設省所管次義用に係る	事業
P. 3 上から18行目 こうした現在の状況化で	状況下で
P. 9 地図	スケール：5万分の1
P. 20 図2-5 平均風ホトグラフ	平均風ホドグラフ
P. 32 上から3行目 (1) 植生、地被状態	<削除> (1) 地被状態
P. 32 上から4行～8行目 当該地域では、岩盤の上にマサ化した花崗岩質片麻岩あるいは <u>室生火山岩</u> が覆っている。このマサ化している部分は <u>滯水層</u> を形成していると考えられる。しかも当該地域のほとんどは赤松林と雑木林に覆われており、 <u>滯水層</u> の上層部は腐葉土層となっており、 <u>滯水層</u> の上層部は腐葉土層となっている。この様な <u>地被状況</u> は、治水の面から言えば、 <u>理想的な状況</u> といえる。	当該地域では、岩盤の花崗岩質片麻岩のマサ化している部分は <u>透水層</u> を形成していると考えられる。しかも当該地域のほとんどは赤松林と雑木林に覆われており、 <u>透水層</u> の上層部は腐葉土層となっている。この様な <u>地被状況</u> は、治水の面から言えば、 <u>安定した状況</u> といえる。
P. 37 上から4行目 利水の状況は以下の	<挿入> 利水と水害の状況は以下の
P. 38 上から2行目 表土層との間に水	<挿入> 表土層や盛土との間に水
P. 42 上から16行目 さらに土中に浸透した水は地下 <u>水化</u> する。	<削除>
P. 55 地図中の宇田川	宇陀川
P. 69 上から5行目 ハチクマ(レッドデータブック記載)	<挿入> ツミ・ハチクマ(レッドデータブック記載)
P. 83 上から13行目 火山岩の硬い地質構造	花崗片麻岩の硬い地質構造
P. 83 上から20行目 水性昆虫、鳥類、	水生昆虫、鳥類、
P. 86 上から15、17行目 第二次世界対戦	第二次世界大戦

国土問題54号正誤表

1997.11.25 現在

ページ	行	誤	正
1	30	地質調査書	地質調査所
3	25	進出	滲出
26	9	平成9年度	平成7年度
26	10	使用料	使用量
26	10	平成9年度	平成7年度
26	14	使用料	使用量
29	26	川路水源	川路、大鹿水源
29	31	使用料	使用量
30	3	ベント	ベントス
31	1	平成9年度	平成7年度
33	19	(挿入)	下諏訪ダムの場合は、有効貯水容量／堤体積＝6.1であり、極端に効率の悪いダムである。

国土問題57号 正誤表

p.30~p.31の図「出現した珪藻の顕微鏡写真」に間違いがありましたので、正しい図に差し替えてください。

珪藻の出現種の目録

出現した珪藻の顕微鏡写真

plate 1

1. *Achnanthes brevipes* v. *intermedia*
2. *A. clevei*
3. *A. conspicua*
4. *A. conspicua* v. *brevistriata*
- 5a. *A. crenulata* (殼面)
- 5b. *A. crenulata* (殼頂面)
6. *A. elliptica* v. *rostrata*
7. *A. exigua*
8. *A. hungarica*
9. *A. lanceolata*
10. *A. lanceolata* v. *rostrata*
11. *A. laterostrata*
12. *A. lineafis*
13. *A. microcephala*
14. *A. minutissima*
15. *A. petersoni* cf.
16. *Amphiole ovalis*
17. *A. pediculus* v. *minor*
18. *Bacillaria paradoxa*
19. *Ceratoneis arcus*
20. *C. arcus* v. *recta*
- 21a. *Cocconeis placentula* (殼面)
- 21b. *C. placentula* (殼頂面)
22. *C. placentula* v. *euglypta*
23. *C. placentula* v. *lineata*

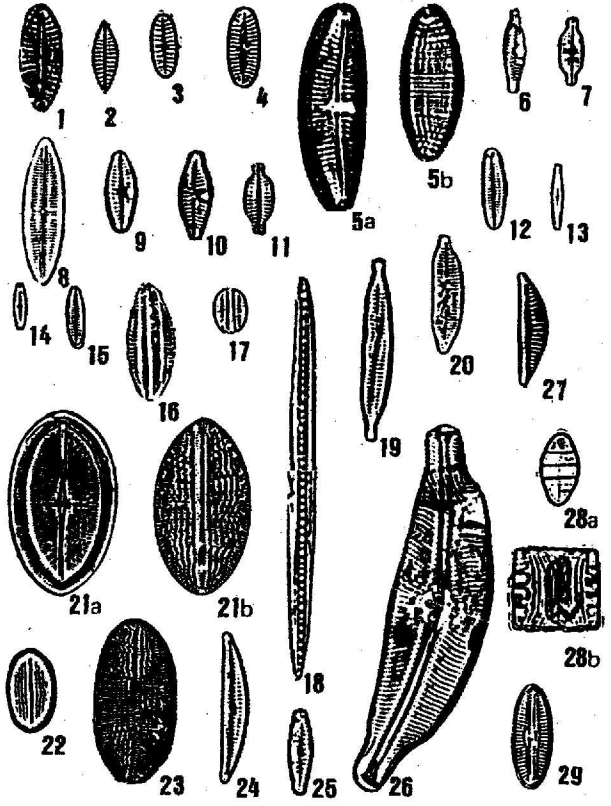
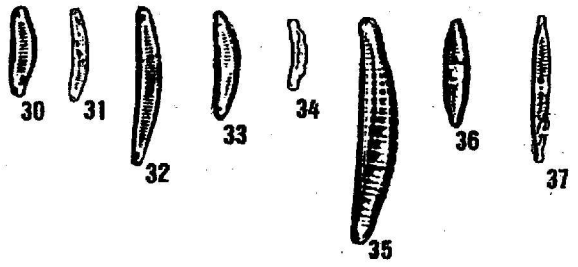


plate 2

24. *Cyabella gracilis*
25. *C. sinuata*
26. *C. tuwida*
27. *C. sinuata*
- 28a. *Diatoma hiemale* (殼面)
- 28b. *Diatoma hiemale* (殼頂面)
29. *Diploneis boldtiana*
30. *Eunotia arcus*
31. *E. faba*
32. *E. pectinulis*
33. *E. pectinulis* v. *minor*
34. *E. polydentula* v. *perminuta*
35. *E. tschirchiana*
36. *Fragilaria bidens*
37. *F. vaucheriae*



「国土問題」 58号 下図を p.5 に挟み込む



「国土問題 60 号」正誤表

本文 72 ページ

写真 1 と写真 2 は逆になっています。

訂正しお詫びいたします。

62号

17ページ 下から4行目

1億円 → 5億円に

訂正

- p. 5 下から 12 行目 普通 → 不通
- p. 9 下から 10 行目 淡水 → 湛水
- p. 11 13 行目 3.2.1 → 3.1.1
- p. 14 下から 6 行目 鉄道工事には → 鉄道工事以外には
- p. 22 下から 19 行目 述語 → 術語
- p. 25 7 行目 フォーカシング → フォーカシング
- p. 27 6 行目 関西国際航空 → 関西国際空港
- p. 86 下から 4 行目 問題かない → 問題がない
- p. 91 11 行目 抜採 → 伐採